

1 グループ委員の憲章案（前文）の整理

（前文資料1）

整理項目	アンケート選択肢 ( )内はアンケート回答率、番号は回答率の高い順	1 - 1	1 - 2	1 - 3	1 - 4	1 - 5
周辺の自然環境	1. 上野の森などの緑 ( 37.8%) 2. 隅田川の流れ ( 37.3%)	上野の杜から隅田の流れ	東に隅田川のせせらぎを聞き、西に上野の森の木漏れ日を浴びながら、真ん中には温かな人情が流れる文化と伝統の町です。	(1)江戸と明治のかおりがする上野の山。史跡、文化財がある。 (2)桜並木、海の名残りの忍ばずの池。人々が憩う。 (3)谷中の露地に、さわやかな風が吹く。 (4)世界の人が集まる浅草寺と雷門。 (5)船が行き来する、隅田の流れ。		
区の地理	3. 上野・浅草 ( 81.3%) 4. 人の集まるまち ( 14.9%)					
区の歴史	5. 江戸・明治期からの歴史的な資産 ( 25.4%) 6. 粋などの下町文化と伝統 ( 50.9%)	花の雲鐘は上野か浅草か 芭蕉	「花の雲 鐘は上野か 浅草か」と江戸前期の俳人松尾芭蕉が詠んだ台東の地	花の雲 鐘は上野か浅草かと松尾芭蕉が詠んだ台東区	江戸明治の文化を残し 粋でいなせな我が街 台東（区）	(7)松尾芭蕉の“花の雲、鐘は上野か浅草か”（300有余年過ぎた）今も鐘がなっている。
誇るべき点	7. 芸術や文化の発信地 ( 24.8%) 8. お祭りや観光によるにぎわい ( 67.0%) 9. 人情味のある温もりのまち ( 33.2%) 10. 職人氣質の産業のまち ( 27.9%) 11. 昔ながらの下町情緒 ( 51.4%) 12. 国際色の豊かさ ( 7.5%)	知恵の夢ある下町文化	お祭りなどのさまざまな催し物で賑わい、他の国からもたくさんの人たちが訪れます。	隅田の流れは変ることなく上野浅草桜のにぎわい街にとどろく祭りの声に笑顔で集う老若男女暮す人々いきいきともてなし 語り 助け合う働く人々元気よく交わすあいさつ心意気	(1)江戸と明治のかおりがする上野の山。史跡、文化財がある。 (2)桜並木、海の名残りの忍ばずの池。人々が憩う。 (3)谷中の露地に、さわやかな風が吹く。 (4)世界の人が集まる浅草寺と雷門。 (5)船が行き来する、隅田の流れ。 (7)松尾芭蕉の“花の雲、鐘は上野か浅草か”（300有余年過ぎた）今も鐘がなっている。	
制定の事情	-					
区民憲章の意義	-	新しきよるこび創りだす愛でるともしび次の子へ	ひとり、ひとりが主人公として、わがまち台東に誇りをいただき、目指すべき道しるべとして区民憲章を定めます。	台東区民 四つの意気込み		
その他	-	花の雲鐘は上野か浅草か 芭蕉	台東区を愛する人は皆、台東区民なのです。	(6)国籍を問わず、台東区を愛する（好きな）人はみんな区民。		